

あなたの生命の側にいつも私たちはいます

クローバーだより

医療法人 清和会

長田病院 広報誌

2013年7月発行 Vol.34

ご自由にお持ち帰り下さい



2013年
7月号

医師からのメッセージ ・ たかが肺炎、されど肺炎



- FACE・スタッフの横顔「4階病棟」
- 美味しく食べれる健康レシピ「トマトとオニオンのチーズ焼き」
- 柳川ぶらり散歩「川よし」
- PICK UP TOPICS 長田病院からのおしらせ
- 関連事業所のご紹介
- 外来担当医一覧

病院理念

私たちは、地域と連携した専門医療を提供し
患者さまとご家族の安らぎを確保します

基本方針

- 一、高品質で安全な医療を実践します
- 一、医療連携の徹底を図ります
- 一、患者さまと共に満足と納得の医療を目指します

たかが肺炎、されど肺炎

医療法人清和会 長田病院

呼吸器内科 米光 純子



肺炎は、2010年の統計では悪性腫瘍、心疾患、脳血管障害に次ぐ死因の第4位でしたが、2011年の統計では第3位となりました。肺炎による死亡者の内訳をみると約97%が65歳以上の高齢者となっており、超高齢社会の死亡増加の大きな要因であると考えます。

肺炎というと一般の方々の印象は、そこまで重症というイメージを持たれないかもしれませんが、特に高齢者の肺炎（誤嚥性肺炎に代表される）は、嚥下障害が回復できないことに加え、長期臥床や絶食のために更に生体機能や免疫能が低下し、しばしば難治性、再燃性となり生命の危機に関わってきます。そもそも誤嚥性肺炎とは、嚥下機能障害のために、咽頭、副鼻腔、歯周、口腔に常在する病原体が、唾液などの分泌物とともに気道に入り込み（気道へ誤嚥し）気道内に感染し、肺炎という感染症を発症することと定義されています。特に脳血管障害の既往があられたり現在も加療中の患者さんは既往があられない方と比較すると、嚥下機能の低下が認められますので、発熱、呼吸器症状（咳、痰など）の出現の際には、医療機関への早目の受診をおすすめします。

肺炎に対する初期治療が成功するかどうかということも重要ですが、「肺炎発症をいかに防ぐか」ということに関しても、患者さん、医療従事者にとっても大切であると考えています。まず、肺炎の原因になる風邪、インフルエンザ等の予防に関しても重要です。一般的に言われていることですが、手洗い、うがいの励行、インフルエンザに関しては65歳以上の方、基礎疾患（悪性腫瘍、糖尿病など）があられる方は、ワクチン接種の施行をおすすめします。特に高齢者の方で、基礎疾患をお持ちの方は、同時に肺炎の起因菌（原因となる細菌）で最も頻度が高い「肺炎球菌」に対するワクチン（肺炎球菌ワクチン）接種もおすすめいたします。また、誤嚥性肺炎の予防としては、口腔ケアの重要性も指摘されており、歯科的問題（う歯、歯周病、義歯のかみあわせの不具合など）に関しても日頃のお手入れが大事になってきますので、気をつけられるとよいと思います。

当院では、加療はもちろんですが、リハビリテーションも同時に行っておりますので、ご相談頂ければと思います。

専門治療のできる病院として、 専門性の高い看護を実践

4 階病棟

4 階病棟は消化器を主とした混合病棟です。スタッフは看護師 25 名、看護補助者 3 名、病棟クラーク 1 名の総数 29 名のスタッフで運営しています。

病棟では、ウイルス性肝炎の治療（インターフェロン療法）、肝がんの治療（化学療法・肝動脈化学塞栓療法）、胆・膵疾患の治療及び上下部内視鏡検査・内視鏡的治療など専門的治療から、糖尿病の治療・教育まで幅広く看護を提供しています。

肝がんの治療では、久留米大学の専門の医師を中心に行っている、多職種合同カンファレンスに病棟看護師も参加し、治療方針の検討や、患者さんを取り巻く精神面・社会的側面など、全人的にチームでサポートしています。

また、現在は高齢者の一人暮らしや、退院後も治療や療養が必要な方が増えていることから、退院後も切れ目ない医療・介護・福祉の連携が重要となっています。4 階病棟では、治療終了後も、患者さんが安心して療養場所を選択し退院出来るよう、患者教育や在宅支援にも力を入れています。ご心配事がありましたら、ぜひ気軽にご相談下さい。



▲季節のディスプレイ



▲多職種合同カンファレンス



▲地域連携室を含めた朝の申し送り

患者さんの、
「自宅へ帰りたい」という
思いを支援しています

病棟では、地域連携室と協力して、退院後の療養先を患者さん・家族が選択できるように支援させていただいています。その一つの事例を紹介します。

がんの終末期で、疼痛コントロールの為に入院となった患者さんでしたが、入院時より家族から「連れて帰りたいが、不安が強い」との相談を受けました。患者さんも「自宅へ帰りたい」という強い希望があり、早期に多職種でのカンファレンスを開催し、訪問看護・自宅改修などのサービスの調整を行うことで自宅退院が実現しました。その後、「家に帰ることができて本当に嬉しかった」と喜びの声を頂きました。

つくりかた

1



トマトを角切りにし、耐熱皿に入れる。



2



玉ねぎをスライスし、トマトの上のせる。



3



②の上に、卵をのせる。真ん中にのせると仕上がりが良くなります。

4



お好みに合わせて塩・こしょうで味つけをする。

5



④にとろけるチーズをのせ、オーブントースターで10～15分焼いたら出来上がり。



トマトとオニオンのチーズ焼き

材料
(1人分)

- ・トマト・・・1個
- ・玉ねぎ・・・1/4個
- ・卵・・・1個
- ・とろけるチーズ・・・1枚
- ・塩・こしょう・・・適量



長田病院の
管理栄養士が
体に良いお料理をご紹介します

管理栄養士 水落 美紀



トマトは、夏バテ防止に最適です!!

トマトは、夏を代表する野菜です。トマトの酸味が食欲を増進させ、蛋白質の消化を助ける夏バテ防止にピッタリの食材です。また、カリウムが多く含まれており、体内の余分な塩分を排出して高血圧予防にも効果があります。トマトの真っ赤な色はリコピンという色素です。抗酸化作用がありシミを防ぐとも言われています。トマトは、ヘタが青くピンとして色ムラがなく、ずっしりと実の締まったものを選びましょう。

柳川ぶらり散歩

12

鰻のさまざまな味を楽しむ



▲素焼きでもこの貫禄



▲小鉢がいろいろ付いてます

素焼きは、油ののった鰻を逆にわさびであさり頂くので、鰻本来の味をあじわうことが出来ます。ビールに合いそうです。

せいろ蒸しには「肝吸い」と「たたき」「酢の物」「マリネ」に「粕漬け」「漬物」が小鉢で付いて、鰻のさまざまな味が楽しめてお得です。

鰻はふつくらやわらかく、ご飯もちょうどいい濃さの味付けで、パクパクおいしく頂きました。今年の土用の丑の日は7月22日と、8月3日です。鰻を食べて、暑い夏を乗り切りましょう!

川よし

福岡県柳川市三橋町藤吉 494-4

☎ 0944-72-2670



▲お店は柳川城塞水門の近くにありますが



▲カルシウムたっぷり骨せんべい

柳川駅から徒歩約10分、今年の「うなぎめし」は「川よし」さんです。創業50年近くになるそう、今日はせいろ蒸しと素焼きを頂きました。まずは「骨せんべい」とお茶でスタンバイです。

地元やながわを
広報スタッフ「むらかみ」が、
ぶらり散歩して紹介します。



緩和ケア病棟オープン

がんによる苦痛、身体症状、精神症状を和らげ、その人らしく毎日が過ごせるように患者さんとご家族を支援します。

がん患者さんや家族は、がんを診断された時、治療の経過、あるいは再発や転移が分かった時など様々な場面で辛さやストレスを感じます。患者さんと家族が自分らしく過ごせるように、医療的な側面に限らずいろいろな場面で幅広い対応をしていきます。

● 体と心の苦痛緩和を優先します

病棟で担当する医師や看護師は痛みや息苦しさなど様々な苦痛を和らげる方法の知識や技術に精通しています。また患者さんやご家族の心の問題についても時間をかけて対応します。

● 苦痛を伴う検査や処置について

点滴や注射などの処置や検査は、症状を和らげるために必要最小限にするように配慮します。患者さんや家族と相談しながら行います。

● 患者さんや家族がくつろげるラウンジやアロマルームがあります

季節の行事や音楽を楽しんだり、面会の方とくつろげる場所があります。また少しでも安楽に過ごせるようにご希望があればアロママッサージを行います。

● 患者さんの家族が過ごしやすい設備があります

病室は全個室です。家族が患者さんの傍で宿泊できるソファベッドを備えています。家族が休息できる家族控室や患者さんや家族のために簡単な料理ができるファミリキッチンや家族が入浴できるユニットバスもあります。

緩和ケアに関する相談を受付けております。がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師が対応いたします。

窓口：地域連携室

緩和ケア病棟基本方針

- 1 こころからだのつらさを和らげます。
- 2 いのちを尊重して、その人らしく生きることを支えます。
- 3 患者さんとご家族の生活の質を高めます。
- 4 地域における緩和ケアの普及と向上に貢献します。

エンディングノートについて学んでみませんか？

公民館や地域の茶話会でエンディングノートについての研修会を開催しています。

自分らしく生きるためには、自分が過ごしたい場所でも少しでも納得できる死を迎えることが望まれます。そのためには、個人の準備が必要です。

出前講座を行いますので、ご相談下さい。

窓口：看護部長 武藤節子

※エンディングノートとは、自分が亡くなった時、自身の希望など伝えるべき事をまとめて書き留めておくノート。

市民公開講座のお知らせ

「がんの緩和ケアを学ぶ」

日時 平成25年7月6日(土)

13時45分開場 14時開始

場所 長田病院 1階

リハビリテーション室

講演1 「看護の技と心を育む、緩和ケア」

緩和ケアパートナーズ代表取締役
がん看護専門看護師 梅田恵先生

講演2 「地域に密着した緩和ケアについて」

帝京大学医学部 腫瘍内科
教授 江口研一先生

緩和ケア病棟オープンに伴い、市民公開講座を右記の通り開催します。

参加費は無料となっています。皆さんの参加をお待ちしています。

▶緩和ケア病棟ロビー





当院と連携し患者さんをサポートする関連事業所をご紹介します

関連事業所のご紹介

訪問看護ステーション 花水木

知って防ごう熱中症

熱中症は、暑さに対する体の適応の障害によって起こります。部屋の中でも高温・多湿等が原因で起こることがあります。症状として、めまい、失神、頭痛、吐き気、気分が悪くなる、体温が高くなる、異常な発汗（または汗が出なくなる）などがあります。予防法として●27度以上では部屋を冷やしたり、体を冷やしたりして、体感温度を下げ、体の水分・塩分が失われないようにする。●運動や作業前には、内臓の負担にならない程度に適度の水分を取る。●発汗によって失った水分と塩分の補給をこまめに行う。（スポーツドリンク等も良い）●作業時は十分に休憩を取りながら行う。また、睡眠を十分に取る。●出来るだけ薄着として、直射日光下では帽子を被る。などがあります。皆さんの状況にあった予防法でこの季節を乗り切りましょう。



介護老人保健施設 シャンティ



青空喫茶を開催しました

療養棟では、5月12日 4階屋上にて、青空喫茶を開催しました。天候にも恵まれ、澄みきった青空の下、心地よい風を感じながら、栄養科特製の“和”をモチーフしたおやつを、ご家族と一緒に楽しんで頂きました。この日は、母の日ということもあり、花束や記念品を準備されていたご家族も多く、ご利用者はご満悦でした。

三橋長田医院



大腸がん検診を うけましょう

女性に多いがんと聞くと乳がんを思い浮かべる方が多いと思いますが、実は死亡率で見た場合には大腸がんが多く、2007年には死亡率第1位になりました。しかし、早期発見できれば完治する可能性の高い病気です。便秘や下痢を繰り返す方なども検診を受けましょう。柳川市・みやま市では、6月より各種健診が始まっています。

長田病院 ケアプランサービス



介護保険について

皆様は、いつまでも元気で長生きをしたいと思われているでしょう。しかしながら、将来ご自分やご家族に介護が必要になる時が来ないとも限りません。皆様に共通の問題である「介護」を社会全体で支える仕組みが「介護保険制度」です。要介護状態になった場合には、その程度に応じて必要な介護サービスを受けることができます。

認知症対応デイサービス からたち



認知症の専門的ケアを行います！

からたちは、認知症の方を対象に専門的なケアを提供する通いの施設です。利用者が可能な限り自宅での生活を送ることができるよう、食事や入浴の支援、心身の機能訓練等を行ったり、屋外活動による社会的孤立感の解消や意欲向上で認知症の進行予防に努めています。また利用者のケアだけではなく家族の介護負担の軽減を目的とした相談支援にも取り組んでいます。

グループホーム つくだ



外食と足湯に行って来ました！

今回の春の外食支援は、船小屋の「公園の宿」へ出掛けました。天候にも恵まれ、気候も良く、久しぶりの遠出に皆さんワクワクされてありました。バスの中では歌を歌い、とても良い雰囲気でした。食事もおいしく、「おいしかった～！」と喜ばれました。帰る際には、近くの足湯へ立ち寄り、有意義な時間を過ごしました！

外来担当医一覧



平成25年6月1日 現在

		月	火	水	木	金	土
午前	第1診察室	西 義勝 (循環器)	西 義勝 (循環器)	西 義勝 (循環器)	山田 和子 (健診・内科) ※10:00 診療開始	西 義勝 (循環器)	西 義勝 (循環器)
	第2診察室	木下 正治 (呼吸器・アレルギー)	木下 正治 (呼吸器・息切れ外来)	木下 正治 (呼吸器・せき外来)	木下 正治 (呼吸器・喘息外来)	木下 正治 (睡眠呼吸センター)	今村 陽平 (呼吸器・内科)
	第3診察室	森田 恭代 (肝臓・消化器)	永田 務 (消化器・内科)	藺田 和弘 (腎臓) ※10:00 診療開始	森田 恭代 (肝臓・消化器)	森田 恭代 (肝臓/メタボリックシンドローム)	森田 恭代 (肝臓・消化器)
	第4診察室	東 公一 (呼吸器・内科) ※9:00 診療開始	米光 純子 (呼吸器・内科・健診) ※9:00 診療開始	外山 貴之 (呼吸器・内科)	島松 文恵 (呼吸器・内科)	樋口 英一 (呼吸器)	
	第5診察室	長田 修一郎 (消化器・内科)	長田 英輔 (肝臓・内科)	長田 英輔 (肝臓・内科)	長田 英輔 (肝臓・内科)	下津浦 康隆 (消化器・内科)	上野 隆登 (肝臓・内科) 第2・第4・第5のみ 中村 徹 (消化器・内科) 第1・第3のみ
	第6診察室	永嶋 美穂 (糖尿病)	永嶋 美穂 (糖尿病)	永嶋 美穂 (糖尿病)	大武 英津子 (糖尿病)	於保 美千代 (糖尿病/メタボリックシンドローム)	
	第7診察室		長田 暁子 (腎臓) ※9:00 診療開始	坂井 英生 (脳卒中外来)		永嶋 美穂 (糖尿病)	
	第20診察室		山田 和子 (健診・内科) ※10:00 診療開始	岡部 義信 (胆嚢・膵・消化器)			
午後	第1診察室				山田 和子 (健診・内科) ※15:00 診療終了		
	第2診察室		外山 貴之 (呼吸器)	米光 純子 (呼吸器・内科)	末友 仁 (呼吸器・内科)	谷村 玲子 (呼吸器・内科) ※16:30 診療終了	樋口 英一 (呼吸器・内科) ※第4は今村医師 今村 陽平 (呼吸器・内科) 第4のみ
	第3診察室	長田 修一郎 (消化器・内科)	森田 恭代 (肝臓・消化器)	藺田 和弘 (腎臓)	森田 恭代 (肝炎外来)		
	第4診察室	東 公一 (呼吸器・内科)	山田 和子 (内科) ※16:00 診療終了	嶋田 知生 (呼吸器・内科)			島松 文恵 (呼吸器・内科)
	第5診察室	谷脇 考恭 (脳神経内科)	樋口 英一 (緩和ケア) ※予約制	永田/下津浦 (消化器・内科) ※第2・4/第1・3・5		永田/下津浦 (消化器・内科) ※第2・4/第1・3・5	下津浦 康隆 (消化器・内科) ※第1は中村医師 中村 徹 (消化器・内科) 第1のみ
	第6診察室	於保 美千代 (糖尿病)	於保 美千代 (糖尿病)	於保 美千代 (糖尿病)	大武 英津子 (糖尿病) ※16:00 診療終了	森田 恵子 (糖尿病)	
	第7診察室		長田 暁子 (腎臓) ※17:00 診療終了			江森 幹子 (健診・禁煙外来)	
(胃) 透視・内視鏡		古波倉 允	古波倉 允	古波倉 允	古波倉 允	江森 啓悟	古波倉 允
(大腸) 内視鏡		古波倉 允	河野 弘志	古波倉 允	古波倉 允		鶴田 修

※都合により変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

医療法人清和会 関連事業所
アクセスマップ

交通アクセス

電車 / 西鉄柳川駅下車(車で約10分)

自動車 / 九州自動車道「みやま柳川IC」(約20分)

バス／水の郷より福祉巡回バス（函開線西ルート）（約8分）

診療時間

月曜日～金曜日	8:30～12:30（午前の受付 12:00 まで） 13:30～17:30（午後の受付 17:00 まで）
土曜日	8:30～12:30（午前の受付 12:00 まで） 13:30～15:30（午後の受付 15:00 まで）
日曜日、祝日	休 診・急患のみ

※急患の方はいつでも診察いたします。

※時間外・休診日については、救急外来にて24時間体制で対応します。



医療法人 清和会 長田病院

〒832-0059 福岡県柳川市下宮永町 523-1

TEL : 0944-72-3501 FAX : 0944-72-5027



日本医療機能評価機構認定病院
クオリティクラスSクラス認証
慢性期医療認定病院



- ・救急告示病院
- ・労災保険指定病院
- ・身体障害者福祉法指定
- ・指定自立支援医療機関（更生医療・腎臓）
- ・福岡県禁煙宣言登録施設
- ・福岡県子育て応援宣言登録事業所



三橋長田医院

〒832-0823 福岡県柳川市三橋町今古賀213-1

TEL:0944-72-4171 FAX:0944-72-5577



介護老人保健施設 シャンティ

〒839-0242 福岡県柳川市大和町豊原521-7

TEL:0944-72-3508 FAX:0944-72-1705



〒832-0051 福岡県柳川市佃町793-1

TEL:0944-75-6330 FAX:0944-75-6330



〒832-0051 福岡県柳川市佃町784

TEL:0944-75-6310 FAX:0944-75-6310



訪問看護ステーション花水木

〒832-0823 福岡県柳川市三橋町今古賀213-1

TEL: 0944-75-1270 FAX: 0944-75-1269



長田病院ケアプランサービス

〒832-0059 福岡県柳川市下宮永町523-1

TEL:0944-72-5390 FAX:0944-75-6572



表紙の写真「夏の思い出」(くじゅう花公園) 撮影者:長田 敦子